

八幡市新本庁舎及び敷地環境整備基本設計意見募集に対する回答

| 件数 | ご意見   | 回答  |
|----|---|---|
| 1  | <p>市内の人口減が予想されるので、既存の市内にある市管轄の施設を将来的に新庁舎に集約出来るスペースを確保しておく。</p>  | <p>人口減を予測した対応は、必要であると考えますがスペース的に設置することは、工事費の増加となることから実施設計において将来の施設集約に備える方法を検討してまいりたいと考えます。</p>  |
| 2  | <p>人口減による税収の減少を見据え、収益性のある施設を庁舎内に設ける。たとえば、下記のようなもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府道側市有地にコンビニ等を誘致し賃料収入を得る。</li> <li>・ 駐車場の一部を月極めで一般に貸出す。</li> <li>・ 駐車場にカーリースのエリアを設ける。<br/>(リース会社への駐車エリアの貸出しによる賃料収入)</li> <li>・ 庁舎内及び府道側に自動販売機を設置する。</li> <li>・ 屋上や南側に太陽光発電パネルを設置し、余った電力は電力会社に売電する。</li> </ul>   | <p>公共施設の在り方については、官民連携が必要な時代となっていると考えており新庁舎でも検討してまいります。</p> <p>駐車場貸出については、来庁者駐車場確保や近隣の駐車場の空き状況等を踏まえて検討してまいります。</p> <p>太陽光パネルについては、屋上の一部に設置する予定としております。</p> |
| 3  | <p>遠くない将来の発生が予想される南海トラフ地震、及び、昨今頻発する水害に備えた庁舎機能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災エリアに井戸を設置する。</li> <li>・ 雨水タンク等による雨水利用。<br/>(井戸水や雨水は通常は庁舎内のトイレ等に利用し、水使用量を抑えられるように管理する)</li> <li>・ 大規模水害の際にも利用できるよう二階以上の階に自動販売機を設置する。<br/>(水害発生時、飲料水の備蓄機能とする)</li> <li>・ 災害時にも利用できるWi-Fi機能の導入。</li> <li>・ 二階以上の階の椅子は、非常時に簡易ベッドになるソファタイプのものを導入する。</li> </ul> | <p>安全・安心な庁舎を目指し雨水利用や飲料水を備蓄するといった対応が必要であると考えています。</p> <p>簡易ベッドとなるソファについては、災害時に限らず急病人の一時休憩としても利用できることが考えられることから設置箇所などについて、実施設計で検討してまいります。</p>               |

|          |  |   |
|----------|--|---|
| <p>4</p> | <p>市民が集える場所としての機能を充実させるため、開庁時だけでなく、閉庁時も利用できるエリアを有効活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上の一部に展望エリアを設ける、もしくは議会場の展望エリアを土日も開放する。</li> <li>・エントランスには、特に多めに椅子を設置し「おもてなしの庭」の眺望を楽しめるようにする。</li> <li>・防災ひろばに桜やモミジを多く植えて、シーズンにはお祭り、音楽会等イベントを行う。</li> <li>・防災ひろばで毎週末、もしくは月に何度か、地元農産品の販売会を行う。</li> <li>・市役所外周にウォーキングやランニングが出来るコースを設置する。<br/>(外周の歩道に専用レーンを設け、スタートからの距離や案内を道路に書き込むことで導入コストを抑える)</li> <li>・庁舎の外回りに防犯カメラを設置する。<br/>(いずれは市内各所に防犯カメラを設置し、安全安心な街をアピールする)</li> </ul> | <p>新庁舎整備事業においては、市民協働型社会を見据えた庁舎づくりが必要であると考えております。これには、プロムナードから続く市民協働ひろば・市民ひろば・防災ひろばをまとめた「やわたテラス」においての賑わいの創出を目指し実施設計において実現可能な内容を検討していきたいと考えております。</p> <p>議場の展望エリア等の土日開放においては、新庁舎の利用についての運用が進めば検討できるよう執務エリアと開放エリアの切り分け運用を行える設計としております。</p> <p>これらの実現に向けて実施設計において検討を進めていきたいと考えます。</p> |
| <p>5</p> | <p>市民が憩い、活動を育む「やわたテラス」を核とした庁舎の実現には、旧来の「役所仕事は平日5時まで」という考えの庁舎ではなく、季節を問わず土日にも市民が交流を楽しめ、また、災害時は24時間の稼働が可能な庁舎を目指していただきたいと思っております。</p>   | <p>3階・4階の市民協働ひろばにおいては、土日の開放や17時以降の運用を想定した設計としております。</p> <p>災害時には、7日間稼働可能な発電設備を設置する設計としております。</p>  |

|          |  |  |
|----------|--|--|
| <p>6</p> | <p>本庁舎の屋根を「瓦屋根」にして欲しい。<br/>古い歴史が息づく八幡市。男山の麓は、特に歴史に配慮した景観が求められます。<br/>それが市のシンボル施設となればなおさらです。そこで屋根部分は、西洋的で無機質な形ではなく、瓦屋根を葺いたものには出来ませんか。<br/>ヘリポートとなるようですが、下から見上げて見える部分は勾配屋根にして、男山の景観とマッチさせてください。京田辺の庁舎も瓦屋根になっていますね。<br/>日本の庁舎という感じがします。</p> | <p>基本設計において勾配屋根や瓦屋根となるような設計にはしていません。<br/>基本設計書では、八幡市の歴史や男山から連想されることとして、古くから人々の営みに寄り添い、風景の一部であったであろう「竹」について、八幡市民にとって親しみある存在であると位置づけ、新庁舎では、「竹」のもつ垂直性や繊維性、「竹林」のもつ奥行き感や無作為性をデザインモチーフとし、新本庁舎内外の適所に施すことで敷地全体の統一感を図ることを検討しております。</p>                                    |
| <p>7</p> | <p>最上階に、男山を向いて食堂を作ってください。<br/>男山を愛でながら食事するのは素晴らしいことだと思います。<br/>庁舎は市民のための事務をこなす場所だけではありません。「市民が食事するために庁舎を訪れる」という切り口で考えても良いではありませんか。<br/>おいしい食事を提供する店を入れてください。おいしい食事は、職員の活力を生むだけでなく。笑顔の生産工場となります。</p>                                      | <p>平面プランの構成及び必要となる階高の立面構成等の条件より、最上階については、議会エリアとしており食堂を設けることは、できません。<br/>しかし、市民協働ひろば内には、食事が可能であるようなスペースを設けることが必要であると考えおります。<br/>市民協働ひろばにおける食事の提供方法については、特定の企業や店舗に業務を担ってもらう方式ではなく様々な方に日替わりや週替わりでお弁当の販売やパンの販売などを行ってもらう方法を現在、検討しており、実施設計において具体化を進めていきたいと考えております。</p> |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 8 | <p>市民課のような市民との接点が多い課と、企画課のように個人のモチベーションを最大限に引き出す課など、いろいろ。その課にあった、そしてグループの力を引き出すようレイアウトに工夫をしていただけませんか。</p> | <p>ご意見を頂いているような働き方改革と言われるような執務空間を創出することは必要であると考えております。</p> <p>例えば、他の課の職員同士が自然と集まり業務内容の意見交換を行うような場を設けた執務レイアウトが必要であると考えます。</p> <p>このような詳細な設計については、次の設計のステップである実施設計に考えを反映させていきたいと考えております。</p> |
|---|---|--|